

IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ

IUNS International Workshop on Capacity and Leadership Development in Nutrition Sciences のお知らせ（第二報）

注)IUNS: International Union of Nutritional Sciences、国際栄養科学連合

主にアジア地域の栄養学を専門とする若手研究者及び実践活動に携わるリーダー育成のため、2010年9月に日本で初めて「IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ」を開催しました。このたび、同ワークショップを、2014年3月に再び日本で開催する運びとなりました。

世界では、2011年に国連で、元首クラスの政府代表者と民間組織、WHOなどの国際機関が集まって、NCDサミット(NCD: Non-Communicable Diseases、非感染性疾患)が開催され、NCD問題は世界規模で取り組むべき最優先課題であるという宣言が国連総会で採択されました。これを受け、2025年までの具体的な目標が設定され、世界各国がNCD対策に乗り出しています。同時に、WHOでは、2025年までの母子保健に関する6つの栄養目標(例えば、5歳未満児の発育阻害を40%まで減少、低出生体重児の30%減少など)を設定し活動を始めています。このように、世界には、過剰と不足の両方の栄養問題、栄養の二重苦(Double burden)が存在しています。

これらの世界的な健康・栄養課題の解決に向けて、どのような研究や実践が必要なのか、日本及びアジア諸国からの参加者と課題を共有し、解決に向けて求められるリーダーシップに必要な知識とスキルの修得をめざします。関心のある方の積極的な参加をお待ちしています。英語での討論が基本となりますが、流暢に会話ができなくても、積極的な参加と将来に向けての関係を築いていこうという意欲のある方を歓迎します。

主催: 日本学術会議IUNS分科会 公益社団法人日本栄養・食糧学会
特定非営利活動法人日本栄養改善学会 独立行政法人国立健康・栄養研究所

テーマ: Achieving the global nutrition and NCD targets by 2025
- Promotion of a healthy diet to combat the double burden of undernutrition, obesity and diet-related NCD

目的: 主にアジア地域における健康と栄養の向上を目的とし、若手研究者等へのリーダーシップ研修を通じて、上記テーマの施策及び関連の栄養学研究にかかわる人材育成とネットワークづくりを図る。

日時: 2014年3月11日(火)9時30分～3月13日(木) 17時

会場: 独立行政法人国立健康・栄養研究所(東京都新宿区戸山1-23-1)及び見学施設

日本側コーディネータ・講師: 清水誠、加藤久典(東京大学)、宮澤陽夫(東北大学)、武見ゆかり、石田裕美(女子栄養大学)、木戸康博(京都府立大学)、吉池信男(青森県立保健大学)、石川みどり(国立保健医療科学院)、熊谷日登美(日本大学)、岸本良美(お茶の水女子大学)、西信雄、三好美紀(国立健康・栄養研究所)他、調整中

海外からの講師: “The 6th Asian Network Symposium on Nutrition”(※) のゲストスピーカー他、調整中
※詳細は、国立健康・栄養研究所のホームページ(<http://www0.nih.go.jp/eiken/>)を参照のこと。

プログラム: 3つのトピック「食品開発」、「教育・行動変容」、「社会環境整備」について、講義(2日目午後のアジア栄養ネットワークシンポジウム(主催:国立健康・栄養研究所)オブサーバー参加含む)、グループワーク及び発表討論、関連施設の見学を行う。

スケジュール(予定)

Time	March 11 (Tue)	March 12 (Wed)	March 13 (Thurs)
a.m.		8:30-9:15 LECTURE (1) Research and Development of Food Products for healthy diet (JSNFS)	8:30-12:00 GROUP WORK (3) Discussion on how to implement those strategies in terms of R&D of food products, comprehensive educational program, and improvement of social environment, to combat the double burden of undernutrition, obesity and diet-related NCDs (10:30-11:30 Observation tour of NIHN, 30 min for each of 2 groups)
		9:15-10:45 GROUP WORK (2)	
	9:30-10:00 Opening/Orientation	Discussion on strategy and perspective to combat the double burden of undernutrition, obesity and diet-related NCDs	
	10:00-11:30 Keynote Lecture The double burden of undernutrition, obesity and diet-related NCDs: global situation and response	10:45-11:15 Coffee break	
	11:30-12:00 Introduction of GROUPWORK	11:15-12:00 LECTURE (2) Comprehensive educational approach for healthy diet (JSND)	
12:00-13:00	Lunch break	Lunch break	Lunch break
p.m.	13:00-15:30 GROUP WORK (1) (including country report) What's a healthy diet? For example, - Nutritionally well-balanced meal - Energy-dense and nutrient poor foods and beverages - Salt reduction - Fat reduction, etc.	13:30-17:30 The 6th Asian Network Symposium on Nutrition (NIHN) Improvement of social environment for healthy diet	13:00-14:30 GROUP WORK (4) Discussion on policy coherence for addressing the nutrition challenges of the double burden of undernutrition, obesity and diet-related NCDs
	15:30-16:00 Coffee break		14:30-15:00 Coffee break
	16:00-16:30 Orientation of FIELD TRIP		15:00-17:00 GROUP PRESENTATION and closing
	16:30~ FIELD TRIP		17:00-19:00 Farewell party (optional)
evening			

JSNFS: Japan Society of Nutrition and Food Science, JSND: The Japanese Society of Nutrition and Dietetics

NIHN: National Institute of Health and Nutrition

参加者の募集人数及び条件: 日本国内20名程度、国外(東・東南アジアを中心に)10~15名程度

※国内からの参加者は、日本栄養改善学会もしくは日本栄養・食糧学会の会員であること。

また、英語での討論が可能なる者。3日間の全てのプログラムに参加可能な者。

参加費用: 参加費用は無料。ただし、参加に伴う旅費・宿泊費・食費は自弁ないしは実費負担を原則とする。

※宿泊希望者については、ホテルサンルート東新宿(1泊 7,700円~8,100円(税サ込、朝食付))を団体で予約します。

参加申し込み方法:

・2013年10月17日(木)より受付開始、11月30日(土)締め切り(必着)。

・提出書類:

①APPLICATION FORM(Wordの書式に顔写真・サインは画像データをペーストする、あるいはpdf化する)

※国立健康・栄養研究所ホームページ<http://www0.nih.go.jp/eiken/english/index.html>からダウンロードできます。

②“Letter of Reference” for application(様式は問わず。日本語でも可)

を添付ファイルとして下記に送付。なお、メール本文に、日本語での氏名・所属・連絡先及び所属学会名(日本栄養改善学会もしくは日本栄養・食糧学会)と会員番号を記載して下さい。

・応募書類提出先・問い合わせ先: nihn-ccp@nih.go.jp (担当: 国立健康・栄養研究所国際栄養研究室 三好)

・参加希望者多数の場合には主催者が選考を行い、申し込み終了時より1か月以内に通知します。参加決定者には、3つのトピックの選択について希望を伺います。